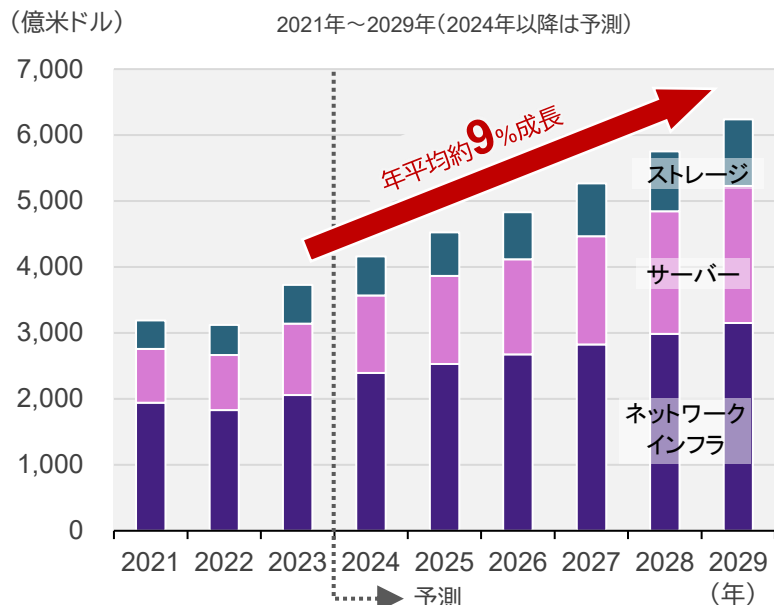


- データセンターとは、コンピュータやデータ通信機器を設置する専用施設で、企業のデータ保管やAI(人工知能)開発に向けた膨大な計算処理の基盤など、幅広い用途に使われます。
- 近年、テクノロジーの進化に伴う情報化社会の進展とともに、社会の中でデータの蓄積が進んでおり、データセンターの需要は高まっています。
- 堅牢な建物の中にIT機器や冷却用設備、電源設備などが備えられているデータセンターは、大量の電力を消費することから、エネルギー供給の効率化が求められています。

世界のデータセンター市場の推移

- 企業のデジタル・トランスフォーメーション推進によるクラウド活用が拡大しているほか、AIの進展を背景にAI向けデータセンターの需要が増加しています。
- 2025年11月時点、米国にはデータセンターが4,165あり、最も多い国とされています(日本は242)。 出所:Data Center Map



ストレージ:データの保存やバックアップ、データ復旧などに必要なシステム関連
サーバー:データ管理やクラウド・コンピューティングなどに必要なサーバー関連
ネットワークインフラ:接続性やデータ転送、セキュリティに必要なハードウェア関連

出所: Statista Market Insights

※グラフは過去のものおよび予測であり、将来を約束するものではありません。

※公開情報など信頼できると判断した情報をもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成。情報の正確性・完全性について当社が保証するものではありません。

ページ記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

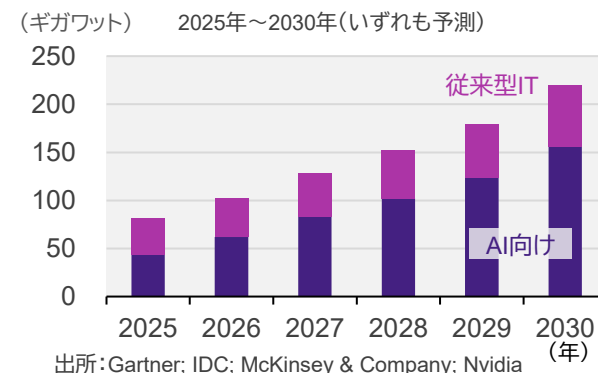
2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

AI向けデータセンターの電力需要が急増する見込み

- データセンターの容量は、一般的に収容するサーバーなどを稼働させるために外部から受け入れる電源の容量(受電容量)で測定されます。
- 近年は、AIの高度化に伴い計算需要が急増しており、計算能力や受電容量への需要が拡大しています。調査機関によると、世界のデータセンター需要のうち、AI向けが2030年には約7割を占めると予測されています。
- また、IEA(国際エネルギー機関)によると、世界のデータセンターの電力消費は、AIの普及を主因として2030年までに倍増(2024年比)し、現在の日本の総電力消費量に匹敵する水準に達すると予測されています。

■ 世界のデータセンター容量の需要の推移



データセンターの増加とともに注目される電力インフラ

- 発電所で作られた電気がデータセンターまで届き、データセンター内で使用されるまでの間、電力ロスがさまざまな要因で発生することが課題になっています。
- こうした課題への対応策の一つとして、高電圧直流給電(HVDC)の技術が注目されています。HVDCは電力変換ロスを抑制でき、従来比で約20%の消費電力を削減するとの調査結果もあります。
- データセンターを安定的で効率的に稼働させるために、サーバーなど電子機器の省力化はもちろんのこと、電力インフラへの投資の加速が見込まれ、関連業界での受注の増加や業績拡大が期待されます。

■ 世界の自励式HVDCの累計容量の推移

